

授業中に先生に質問が出来なくても、授業後や放課後に先生の所に行くとき細かく丁寧に教えて下さって、親身に寄り添ってくださいます。なので、分からないところがあっても気軽に質問をしに行くことができ、弱点克服がしやすい環境だと思います。放課後にある課外授業は、自分のレベルに合う授業を選択できるので、充実した課外授業が魅力的です。

6年間、茨中・茨高に通って大切にしたい思い出は、吹奏楽部での活動です。中学生と高校生と一緒に活動するので“縦のつながり”をととても感じました。中学生の時は、憧れる先輩の後を追うように練習し、褒めていただいた時はとても嬉しい気持ちになりました。また先輩は演奏面だけでなく、礼儀や挨拶、勉強面のコツなどを教えてくださるので、先生からはあまり教わらない面でも成長できたと思います。高校生になると、自分が先輩から教わったことを後輩に教えることの難しさや、仲間との意見の違いによりぶつかることもありましたが、それを乗り越えることで大事な仲間を得ることができました。また、部活動と勉強を両立させることで、時間の使い方のコツを身につけることができたと思っています。受験期になっても時間を無駄にせず勉強に集中できました。私は部活動の大会やコンサートで緊張することが多かったのですが、自分の心をコントロールする術を身につけることができたので、大学の受験日には緊張せずリラックスして受けられました。

茨中・茨高の良いところは、生徒一人ひとりに向き合ってください先生が多いことです。質問をしに行くとき生徒が納得するまでそばで教えて下さり、休み時間や放課後など廊下で話しかけると他愛もない話をして下さり、とても楽しい日々でした。また、高校3年生の4月になって個人的に国語科の先生に受験の小論文・2次対策をお願いしに行くと、快く引き受けて下さりました。10月になると、先生も忙しい中、複数の生徒の志望理由書の添削や面接練習も何回もしてくださったので、私は塾に通うことなく合格することが出来ました。私の受験生としての見本となった兄と姉も茨中・茨高に通い、塾に通わずに現役で合格しました。中学生の頃から行ってくださる職業教育講演会では、様々な職業を知ることができるため、将来について時間をかけて考えることができ、進路を決める際にととても役立ちました。

私は大学で幼児教育の知識を増やし、将来は子どもが安心できるような保育士になり、保育園で活躍できる人材になりたいと思います。